

回 答

団体名（日本労働組合総連合会大阪府連合会）

（要望項目）

5-2(3) 地産地消の取り組み強化と6次産業化の推進にむけて

地産地消の取り組みにむけて、「大阪産(もん)」のPRをさらに展開し「大阪ブランド」力の向上に努めるとともに、地域でとれた食材を学校給食や福祉施設などで積極的に提供し、地域産農産物の消費拡大に取り組むこと。また、6次産業化の推進にむけて、農業を支える担い手の育成や他分野から農林水産業への参入支援強化で農林水産業の活性化をはかること。

（回答）

地産地消の推進に向け、11月の大阪産(もん)推進月間における各地域でのイベントなど大阪産(もん)普及推進のための各種事業展開により、大阪産(もん)の府民認知度は平成21年6月時点の29.2%から平成25年3月には58.1%と大幅に増加し、事業者等からの大阪産(もん)ロゴマークの利用申請も延べ700件(H25.12)にまで伸びています。

また、今年度、大阪商工会議所と連携した料理コンテスト「食の都・大阪グランプリ」を開催、加えて東京での大阪産(もん)プロモーションを通じてホテル、レストランのシェフなど実需者を含め、消費者を巻き込みながら、大阪産(もん)ブランドの推進に努めているところです。

さらに、(公財)学校給食会など関係機関と連携しながら、季刊誌等を活用し、子ども達やその家族等に、地元農産物への理解や関心を高めるため、なにわの伝統野菜をはじめとする大阪産(もん)を食材とした料理などを紹介しています。今後も引き続き、東京での大阪産(もん)プロモーションなどを通じて、大阪産(もん)のブランド力の向上、地産地消の推進に努めてまいります。

次に、農業を支える担い手の育成については、府内4箇所の農と緑の総合事務所が中心となり従来から6次産業化の推進のための技術・経営指導を実施しており、今後とも市町村、JA等と連携して担い手の育成に努めていきます。

また、他分野からの農業参入については、平成23年度から「都市農業参入サポート事業」を実施し、企業や都市住民の農業参入に対する相談窓口の設置、小さな規模から農業への参入を実現できる府独自の「準農家制度」の創設、参入希望者のニーズに合わせた農地の確保とマッチングなどにより、参入を支援しているところです。平成23年4月から平成26年1月末までの実績は、企業参入15社、新規就農34人、準農家52人となっています。今後こうした取組みを一層強化することにより、多様な担い手の農業参入と地域農業の活性化を進めてまいります。

（回答部局課名）

環境農林水産部 農政室 推進課